

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムの「M」の写真

イーシャ・サーデサイ

シッダ・ヨーガの道において、5月、8月、10月は特別な関連性を持っています。何かというと、それはバーバ・ムクターナンダをたたえる祝祭日があるということです(5月はバーバの誕生日、8月はバーバのディヴィヤ・ディークシャー、10月はマハーサマーディ)

特に5月と10月は、「バーバの月」として知られるようになりました。私が自然で有機的な展開を暗示する構文を使って「～ようになった」と言ったのは、なぜならこの呼び方はまさにそのようにして確立されたからです。1990年代のサツァングで、グルマーイはこれらの月がどのようにバーバに属しているか——どのように「バーバの月」であるか——を話しました。その輝かしいサツァングの場において参加していた人々は、グルマーイがそう言ったのがとても気に入り、それで彼らも5月と10月をバーバの月と言い始めたのです。そのようにしてその名前が定着し、シッダ・ヨーガの伝統の一部になりました。

そのことを強調するかのように、自然界は——そして私たちの環境のより世俗的な側面(例えば、私たちが生活し、働く場所の光景や音)でさえも——バーバを祝う時であることをしばしば映し出します。グルマーイは、5月、8月、10月の間に、彼女がどのようにバーバのそのようなしるしに出会うかについて話してきました。すると、多くのシッダ・ヨーギもこれらの時にバーバのしるしを認識するようになりました。木の葉や空に刻まれた彼の衣の色や、ここにも、そこにも、至る所にきらめくブルーパールなどです。

グルマーイが私たちに注意を向けるよう導いているバーバの一つのしるしは、「M」の字です。バーバはその自由な自然さで知られており、同じように「M」の字は、私たちのすぐそばでも、

より広い周囲の世界でも、自然に現れるように見えます。私たちはそれを、雲の形の中に、木の枝の形の中に、足元の青灰色の石の並び方の中に見つけるかもしれません。散歩している湖畔のさざ波や、とても精力的な虫にかじられた樹皮の塊の中に「M」があるかもしれません。「M」は、お茶のカップの中に見つかったり、コーヒーに入れたミルクの渦の中にもう一つ見つかるかもしれません。もしかしたら、一日を送る中でより頻繁にそれが聞こえ始めるかもしれません。人々が、理解や不確かさ、喜びや満足を表すために「ムムムム(mmmm)」と言ったりするのを。

シッダ・ヨーガの道のウェブサイトの実に多くの教えや画像と同様に、グルマーイの願いは、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトを訪れる皆が、彼女自身がシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムで見ているものを見る機会を持つことです。ですからこのページは、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムの敷地内で現れたたくさんの「M」の写真を集めています。明らかに「M」の形になっているものもあれば、控えめで、少し探す必要のあるものもあります。

グルマーイの望みは、あなたがこれらの写真を見ることで、あなたも、どこにいてもバーバの存在を目に見える形で体験することです——バーバがあなたに、「私はここにいるよ」と言っているのを認識することです。

